

第2学年 学級活動 活動内容(2)学習指導案

日時 10月16日(木) 5校時
学級 第2学年3組 (32名)
指導者 担任 黒岩まい子
学校歯科校医 中崎俊克

1 題材名 「給食をよく噛んで食べよう」

学級活動 活動内容(2)日常の生活や学習への適応及び健康安全

(キ)食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

2 題材設定の理由

1年生の時「6歳臼歯は歯の王様」の題材で、歯の染め出しと磨き方について学習した。2年生になり生活科でミニトマト・ピーマン等の野菜を育てている。植物の育ち方、観察の仕方、収穫の喜びを体験した。さらに、給食用のソラマメやトウモロコシの皮むきを低学年で行い、トウモロコシ等が給食の食材に変わることを手、目、耳、鼻、舌など五感を使って体験し味わった。2年生の児童は元気な子が多く、給食の時間も楽しく食事をしている。初めて出会う食べ物や味に対しても、友達と互いに励まし合いながら頑張ってみようとする姿勢が見られ、友達と共に食事をとりながら楽しくコミュニケーションを図る給食は大切な時間・場になっている。日頃の給食の摂食状況を見ると、全体的に残さずバランスよく食べている。しかし、早く食べたり話に夢中でよく噛まずに飲み込んだりしている児童も少なくない。また、和食よりも洋食、噛みごたえのある物よりもすぐに味を感じるようなやわらかい食べ物を好む傾向がある。そこで、乳歯から永久歯に生えかわっていく大切なこの時期に、よく噛んで食べることの必要性を意識させたいと思い本題材を設定した。

3 研究主題との関連

(1) 学級活動(食育)で目指す児童像

【心】誰とでも仲良くし、思いやりのある温かい人間関係を築こうとする子
【体】楽しい食生活を通して、元気な体をつくろうとする子

(2) 研究主題(児童像)に迫るための手立て

【心】誰とでも仲良くし、思いやりのある温かい人間関係を築こうとする子に迫るために

○ 小グループの導入

生活班を活用することでもっと知りたい気持ちを持ち、調べたり話を聞いたり、体験する活動を通して、各自が自分の意見をもって話し合いに参加できるようにしたい。

○ ワークシートの活用・工夫

ワークシートを取り入れることによって、自分の考えをもって話したり振り返ったりすることができる。

【体】楽しい食生活を通して、元気な体をつくろうとする子に迫るために

○ 体験活動の工夫

児童の感覚を大切に、楽しく学習できるように実際に食材を食べるなどの体験活動を取り入れる。「もぐもぐタイム」の時間を意識させながら、よく噛むことの大切さについて指導する。また、苦手な食べ物でも一口は食べさせ、味覚を広げさせる。栽培を行って収穫の際には、命をいただいていることを意識させる。

○ 専門的機関等との連携

専門的な立場である養護教諭・栄養士・校医から、よく噛んで食べることの効用について説明してもらうことで、よりわかりやすくその大切さを理解させていきたい。そうすることにより「よく噛んで食べよう、噛みごたえのあるものを食べよう」という意欲につながるものと考えている。

4 本時の学習

(1) ねらい

- ・よく噛むことの大切さを知る。
- ・よく噛んで食べようとする意識をもつ。

(2) 展開

児童の活動	主な発問及び児童の反応	○指導上の留意点・支援●評価
<p>・事前に手を洗っておく</p> <p>1 自分の食べ方を振り返る。</p>	<p>今日の給食の献立を思い出して発表しましょう。一口で何回ぐらい噛んでいますか。</p>	<p>○給食を食べている時の様子を想起させる。</p>
<p>2 本時の学習課題を確認する。</p>	<p>今日は、給食をよく噛んで食べるとどんないいことがあるのかということについて勉強しましょう。</p>	<p>[掲示資料]給食献立カード</p> <p>○テーマの確認</p> <p>○無理してたくさん回数を噛まないように指導する。</p>
<p>3 煎餅を試食し、噛むことのよさについて考える。</p> <p>・20回以上噛む</p>	<p>C 給食をよく噛んで食べよう。</p> <p>よく噛んで食べるとどんないいことがあるのでしょうか。</p> <p>C おなかにいい。 C あごがよく動いた。 C 噛んでいるうちにやわらかくなった。 C つばが出たよ。 C 歯並びがよくなる。</p>	<p>○噛み方やあごの使い方などの違いに気付くよう指示し、試食する。</p> <p>○数を数えながら食べることが困難な児童には支援をする。</p> <p>○あごの動きや口の中の食べ物の変化に目を向け、咀嚼の様子を観察できるよう、手鏡を使うことを指導する。</p>
<p>4 「噛むこと」の大切さについて知る。</p>	<p>よく噛まないとなんかことが起こると思いますか。</p> <p>C 飲み込めない。 C のどにつまる。 C おなかが痛くなる。 C 味がしない。</p>	<p>○あごの動きや口の中の食べ物の変化に目を向け、咀嚼の様子を観察できるよう、手鏡を使うことを指導する。</p>
<p>5 よく噛むために自分でできることを考えて決定する。</p> <p>・個人で考える</p> <p>・グループで話し合う</p> <p>・自分でできることを選ぶ</p>	<p>よく噛むことの大げさについての説明を聞きましょう。(学校歯科校医)</p> <p>[あ]あごを使う C 噛む力が強くなるんだね。 [い]胃の働き C 噛むことは元気につながる。 [う]運動で脳も体も元気 C 頭がよくなる。 [え]栄養、体が元気 C 噛むことは大切だね。 [お]おなかがいっぱい</p>	<p>[掲示資料]</p> <p>「噛むってすごいよ」カード</p> <p>●噛むことの大げさを理解している。(発表・観察)</p>
<p>6 学習を振り返り、今後の食べ方の目標を記入する。家でもよく噛んで食べようとする意識をもつ。</p>	<p>よく噛んで食べるためにどんなことができるでしょうか。</p> <p>C 一口30回噛む。 C 味わって食べる。 C 少しずつ食べる。 C 数えながら噛む。 C 左10回、右10回、両方で10回。 C よく噛むことを気にするって大事だね。 C しっかり噛んで健康な体になろう。</p>	<p>○ワークシートに記録するよう指導する。</p> <p>○個々の発表を認め実践化へ向けて励ます。</p> <p>●よく噛んで食べようとする意識をもつ。(発表・ワークシート)</p>
<p>6 学習を振り返り、今後の食べ方の目標を記入する。家でもよく噛んで食べようとする意識をもつ。</p>	<p>給食で自分が決めたことができたかどうか「やってみよう」カードに記録しましょう。</p> <p>C 20回から30回噛んで食べよう。 C 家でもよく噛んで食べよう。</p>	<p>○本時の学習を振り返り、決めたことを「かみかみ週間」で実践していくことを確認する。</p>